

つなげよう つながろう
ふたばのわ



「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを
深めるためのコミュニティ紙です。
自治会・団体の活動紹介や町民同士の
新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。
「ふたばのわ」を通して町民のみなさんの
つながりや笑い合う場を増やしていけたら。

第28回双葉町総合美術展(郡山市)での一枚

- ▶ ふたばのわが創刊2周年を迎えました!(P2~3)
- ▶ 県中地区自治会×双萩会交流会~こころに幸せなひとときを……(P4~5)
- ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6) ▶ 町からのお知らせ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・後世に残したい双葉町・編集後記(P8)

■発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集: ふたさぼ(双葉町復興支援員)



インターネットでもつなげようつながろうふたばのわ
(町公式フェイスブックページ)

▶ <http://facebook.com/fukushima.futaba>

第1号



1, 2号は
4ページで
スタート!

第2号



平成26年双葉町成人式実行委員会

第3号



双葉町いわき事務所に
飾られた双葉ダルマ

第4号



ダルマ市でサポートセンターひだまりに
展示された作品

第9号



つながろう!双葉町!
町民交流懇談会

第10号



サマーチャレンジ
in 柏崎 宝探し

第11号



平成26年度全国高等学校
総合体育大会女子ソフトテニス

第12号



双葉町立学校仮設校舎に
飾られた折り紙

第17号



白河郭内応急仮設住宅集会所に
飾られた雛人形

第18号



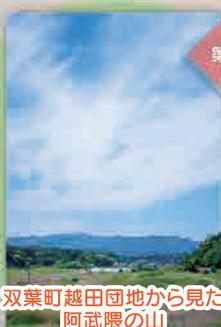
双葉町立小学校卒業式

第19号



双葉町寺松地区の枝垂桜

第20号



双葉町越田団地から見た
阿武隈の山

ふたばのわが 創刊2周年を 迎えました!

ふたばをもっと見えるように

2013年11月15日に創刊された「ふたばのわ」。当時、毎月15日に発行されていた「町からのお知らせ」をもっと町民の顔が見えるような「コミュニティ紙」にしてはどうか、という声をきっかけに「ふたばのわ」は誕生しました。

避難先で今の生活を楽しまつつも、町民をつなぐために活動している方々や双葉町の歴史や文化、風土を紹介することで、双葉町に想いを馳せてもらう時間をつくりたい。そして、この「ふたばのわ」を通して町民のみならずのつながりや笑い合う場を増やし、「ふたばのわ」を広げていきたい。そんな想いでこの2年間制

作を続けてきました。

タブレットも使って
よりわかりやすく!

8ページという限られた紙面の中で、時にはお伝えしたいことがあります。文字ばかりになってしまったこともありました。

2014年9月に双葉町ICTきずな支援システムが導入され、タブレット端末が配付されてからは、ふたばのわ(文字)とタブレット(映像)を連携させた情報発信にも取り組んでいます。「ふたばのわ」の紙面に動画のQRコードを掲載し、タブレット端末やスマートフォンで映像を見てもらうことで、紙だけでは伝えきれない音や情報も伝えられるようになりました。



第8号

いわき市南台応急仮設住宅に
植えられた花



第7号

平成26年3月に制定
された復興ロゴマーク



第6号

旧騎西高校片付け
伊澤町長の背中



第5号

いわき市南台で行われた
キャンドルナイト



第16号

ダルマ市の後に行われた
キャンドルナイト



第15号

双葉ダルマの絵付け



第14号

相馬・南相馬地区双葉町民
パークゴルフ大会



第13号

町民作品展覧会に
飾られた作品



第24号

第9回市町村対抗
福島県軟式野球大会



第23号

双葉町観光協会で制作した
巨大双葉ダルマ



第22号

サマーチャレンジ in 柏崎
ビーチフラッグ



第21号

喜久田応急仮設住宅集会所に
飾られた折り紙ともみ絵

あなたの声を聞かせてください

つなげようつなごろう

ふたばのわ

「創刊2周年アンケート」
ご協力をお願い

「ふたばのわ」のより良い紙面づくりのため、みなさんの声を聞き
たいと考えています。本紙に「創刊2周年アンケート」を同封しました
ので、ご協力いただければ幸いです。

アンケートとアンケート裏面のクロスワードパズルにお答えいた
だいた方の中から、抽選で5名様に、
グルメカタログをプレゼントいた
します。ご家族、友人と双葉町の思
い出話をしながら、クロスワード
パズルを解いてみましょう！

たくさんのご応募お待ちしております。
もちろん、アンケートのみ
の返信も大歓迎です！



応募方法

賞品をご希望の方はアンケートとクロスワードパズ
ルの両方にお答えいただき、はがきにクロスワード
パズルの答え、住所、氏名を記入してお送りください。

締切

12月15日(火)
消印有効
※切手を貼らずに
投函してください。

- 当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- クロスワードパズルの答えはふたばのわ第26号でお知らせいたします。

ふるさとへの想いを伝えたい
これまで「ふたばのわ」で紹介
してきたのは、各地域の自治会や
趣味のグループ、各種イベントの
様子やそこで聞かれた言葉、出
会った人など様々。「ふたばのわ」
の制作を通して出会った方々は

今の生活を大切にしながらも、
「ふるさと」に対する想いを持ち、
それを形にしています。
これからも双葉町民のみなさ
んの活動を通して、双葉町の魅力
をお伝えし、一人でも多くの方
にふるさとへの想いを持ち続けてほ
しいと願っています。



こころに幸せなひとときを……

県中地区自治会 × 双萩会 交流会

10月17日(土)、秋の青空が広がる宮城県仙台市にたくさんの笑顔が溢れていました。この日は福島県郡山市を中心に活動している「県中地区自治会」と宮城県仙台市を中心に活動している「双萩会」のみなさんの交流会。両自治会合わせて約50人が集まり、久々の再会を喜び合いました。

ふたばの温かさ

バスから降りてきた県中地区自治会のみなさんとお迎える双萩会のみなさん、手を取り合ったり、肩を抱き合ったり、その表情からはこの交流会を心待ちにしていた様子がうかがえました。

まずはじめに、伊達政宗騎馬像の前で全員で記念撮影。その後、交流会の会場に入り、まずはお互いにお土産のお菓子を交換しました。さらに県中自治会のみなさんから双萩会のみなさんへ「ご縁があるように」と5円玉の入った亀の手作りストラップがプレゼントされました。

「双葉の人がこんなにくさっていると双葉にいたい」

「久しぶりに同級生の元気な姿を見て自分も元気をもらった」

「なんだか親戚が会いにきてくれたみたい」

ふたばの温かさを感じたみなさんからはこんな喜びの声が聞かれました。

幸せを感じているひとときを

震災前から深い付き合いがあった県中地区自治





会会長の伊藤吉夫さんと双萩会会長の阿部利一さん。昨年、自治会役員会で自治会同士の交流もいね、と話したことをきっかけに、連絡を取り合いながら役員のみなさんと計画を進めて来ました。約1年越しで実現できた交流会に2人は感慨深い様子です。

「阿部会長からは、『首を長くして待つてるよ。ぜひ仙台に来てください』といつも言われていました。町の復興計画や広報紙など、どこを見ても「きずな」と書いてあります。ふるさとはまだ遠く感じますが、このような交流をきっかけにきずなを保っていききたいです」（奥中地区自治会伊藤吉夫さん）

「震災から5年近く経過しているが、きずなはまだまだつながっていると感じました。直接会って交流をすることで、ひとときでも幸せな気持ちになります。その一つ一つの積み重ねが相乗効果を生んで、健康にもいい効果があると感じています。忙しくても今後もこのような機会をつくり、きずなを深めていきたいです」（双萩会阿部利一さん）

想いが重なり深まるきずな

両自治会長の想いと役員のみなさんの協力が重なり実現できた交流会。交流会の参加者からは「まずは一歩踏み出すことが大事」という言葉も聞かれました。この交流会をきっかけに、町民同士の交流、さらには今の生活の中の新しい人のつながりが増えていくことを願っています。



ふたばのわ スマイルフォト

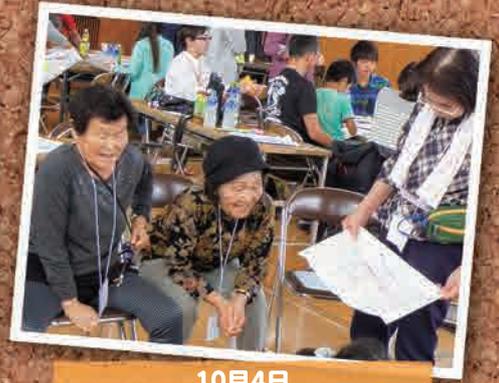
～笑顔でみんなをつなげたい～



9月16日
双葉町立小・中学校太鼓教室
(いわき市)



9月27日
結の器ワークショップ
(つくば市)



10月4日
くぼたんけん～勿来まちあるき
(いわき市)

10月9日
いきいきサロン運動会
(加須市)



10月9日
双葉町社協サロン(福島市)



10月10日
ふたばワールド2015
in ならは(楡葉町)



10月14日
ウルトラ警察隊による
仮設・借上げ両自治会
交流会(白河市)

10月17日
第2回市町村対抗
福島県ソフトボール大会
(相馬市)



10月19日
マコモタケ収穫体験(いわき市)

町からのお知らせ

講座

厚生労働省福島労働局委託事業 「福島雇用促進支援事業」

受講料、テキスト代
無料



福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

福島広域雇用促進支援協議会では、各種セミナー、講習会の受講者を募集しています。雇用保険受給者で証明書が必要な方へ参加証明書を発行します。

個人向け

パソコンJW-CAD講習

パソコンのマウス操作ができる方。

【日時】11月27日(金)～12月10日(木) 9:00～15:50

【場所】株式会社アカデミー
(いわき市中央台)

【定員】20名

【申込締切日】11月18日(水)

計
10日間



個人向け

ビジネスマナー・ パソコン基礎講座

【日時】12月11日(金)～12月25日(金) 9:00～15:50

【場所】株式会社アカデミー
(いわき市中央台)

【定員】20名

【申込締切日】12月2日(水)

計
10日間



個人向け

職場体験実習

大人のインターンシップ参加者募集

協議会に登録している職場体験実習受入事業所での職場体験実習。

気になる会社や未経験の職種で職場体験実習ができます。

【実習受入期間】1～3日

【実習時間】実習先の所定労働時間内(8時間以内)

【実習内容】実習先が営む業務の職場体験

【実習先】福島県内の雇用保険適用事業所

【対象者】就業意欲が高く、協議会の主旨に合致する方



法人向け

職場体験実習

大人のインターンシップ受入事業所募集

大人のインターンシップでは、実習を通じて求職者と企業の情報交流をはかり、より良い就職につなげることを目的としております。実際の現場で、業務説明や職場環境のアピールができます。

【実習受入期間】1～3日

【実習時間】受入事業所の所定労働時間内(8時間以内)

【実習内容】受入事業所が営む業務の
職場体験

【実習先】福島県内の雇用保険適用事業所



申込方法

※インターネット
からお申込み
いただけます。

【申込書設置場所】双葉窓口 双葉町役場いわき事務所(産業建設課内)

【申込先】双葉窓口 FAX▶0246-84-6286 郵送▶〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目 19-4
双葉町役場いわき事務所(産業建設課内)

【応募上の注意】・先着順ではありません。申込締切後、一定の選考にて受講者を決定します。

・応募多数の場合は、早めに募集を締め切る場合がありますので予めご了承ください。

【問い合わせ先】福島広域雇用促進支援協議会 双葉窓口(双葉町役場いわき事務所産業建設課内)

ホームページ▶ [働きたいネット](http://www.fkkoyou.net/)

検索

<http://www.fkkoyou.net/>

電話▶0246-84-6285



情報

福島県アンテナショップ3館共通商品券の 販売・利用期間が延長となりました!

福島県では、首都圏等における県産品の消費拡大と県内への誘客促進を図るため、福島県アンテナショップ3館で利用できるプレミアム付き共通商品券を販売しています。

【販売・利用期間】平成27年6月1日(月)～平成27年11月30日(月)

※売り切れ次第終了となります。

平成
28年

2月29日(月)
まで

【販売価格】1部5,000円で7,000円分(700円×10枚綴り)の商品券をお1人様6部まで購入可能

※現金販売のみ

【販売・利用施設】日本橋ふくしま館MIDETTE(東京都)、福島県八重洲観光交流館(東京都)

福島県観光物産館(福島市)

【問い合わせ先】公益財団法人 福島県観光物産交流協会

電話▶024-525-4081(平日8:30～17:30)



放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成27年10月23日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅 ……0.14~0.25
- ②福島市 さくら応急仮設住宅 ……0.13~0.20
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅 ……0.15~0.59
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅 ……0.11~0.49
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅 ……0.22~0.23
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅 ……0.05~0.07
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅 ……0.07~0.09
- ⑧会津若松市 第二中学校西応急仮設住宅 ……0.08~0.09
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅 ……0.11~0.15
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所 ……0.20
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎 ……0.12
- ⑫白河市 県白河合同庁舎 ……0.09
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎 ……0.06
- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎 ……0.05
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎 ……0.10
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎 ……0.07



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成27年 10月23日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.82
新山	新山公民館	—	0.58
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.49
新山	双葉南小学校	—	0.62
新山	双葉中学校	—	0.26
新山	県立双葉高等学校	—	0.44
新山	中央公園	—	0.70
下条	双葉総合公園	2.60	1.22
下条	双葉町役場	—	0.36
郡山	郡山公民館	1.48	0.67
細谷	細谷公民館	2.31	0.88
三字	三字公民館	2.53	1.15
山田	山田農村広場	24.47	8.75
石熊	石熊公民館	12.10	4.97
長塚	双葉町体育館	6.25	2.47
長塚	長塚二公民館	3.26	1.12

地区	地点	平成24年 4月1日	平成27年 10月23日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	2.64
長塚	町西住宅	—	0.58
長塚	JAふたば北部営農センター	—	7.92
長塚	双葉北小学校	—	2.36
長塚	ふたば幼稚園	—	2.01
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.54
長塚	双葉町児童館	—	0.44
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.91
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.73
寺松	寺松公民館	3.46	1.59
渋川	渋川公民館	1.48	0.66
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	1.99
中田	中田公民館	0.77	0.37
両竹	両竹公民館	0.54	0.13
浜野	浜野公民館	0.34	0.15

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

早いもので「ふたばのわ」も創刊2周年を迎えました。この2年間の「ふたばのわ」いかがでしたでしょうか。紙面でも紹介しましたが、取材の際に町民の方が話していた「一步踏み出すことが大事」という言葉がとても印象に残っています。なぜなら「ふたばのわ」は町民のみなさんの活動を紹介し、その活動により多くの方に加わってほしい、この「ふたばのわ」がみなさんにとって一步を踏み出すきっかけになってほしい、という想いを込めて制作しているからです。

今月の「ふたばのわ」にはアンケートが同封されています。今後のより良い紙面づくりのため、ぜひみなさんの声を聞かせてください。

(ふたさほ 山根光保子)

後世に残したい双葉町

以前から映画に興味があり、映画監督に憧れたこともある私にとって、ステーションプラザは自分の夢を小さいながらも実現できた場所です。「劇団ドスミル」に所属していた私は、年2回の公演を含め、台本の読み合せから公演まで、1年のうち半分はステーションプラザへ通っていました。初めは音響係として入団しましたが、前座で友人と漫才を披露したことや役者として主役を務めたこともありました。公演前に楽屋で着替えをする時と表現者へ気持ちが入り替わる感覚を覚えています。



町内で、劇団を応援してくれている方に声をかけられることもあり、あの場所で劇団をやっていたことで人とのつながりもできたと感じています。